

留学を終えて

聖マリア女学院高等学校 札幌 萌恵（タイ）

私は2025年7月から2026年5月までの10か月間、タイのヤソートーンで留学生活を送りました。初めての長期留学生活で不安もありましたが、ホストファミリーがタイ各地へ連れて行ってくれたことや、クラスメイトや同じ学校の留学生との交流を通して、私はタイの文化や人々の温かさを身近に感じることができました。

最初は食事や生活スタイルなどの文化の違いに大きな衝撃を受けました。タイでは朝から揚げ物や辛い料理をたくさん食べるのが一般的でした。これまで朝食はパン1枚だった私にとって、胃への負担が大きくなり、慣れるまで苦労しました。



また、タイ人は性の多様性に対して寛容であると感じました。私のホストシスターには同性のパートナーがいました。私にとって初めて身近に接する機会でしたが、周囲の人々は特別視することなく自然に受け入れていることが印象的でした。

他にも、時間や予定に対する考え方にも大きな違いがありました。タイの人々は行動力があり、その場の流れで予定を決めることが多かった印象があります。例えば、前日に突然パレードの参加が決まることや反対に予定が直前で変更されることも多かったです。最初は予定の変更に戸惑いでしたが、タイで生活しているうちに、状況に応じて、柔軟に対応する大切さを学びました。

一方で、現地での学校生活からも多くの学びを得ました。私は「MEP」という英語とタイ語の両方を用いて学習するバイリンガルコースに通っていました。授業の多くは英語で行われており、タイ語ができなかった私にとって理解しやすい環境でした。また、プレゼンテーションやスピーチをする機会が多く、クラスメイトと自然に打ち解けることや、自分の意見を英語で伝えることができました。



私の学校には、私を含めて7人の留学生がおり、留学生のみのタイクッキングクラスやタイ語のクラスがありました。タイクッキングクラスでは、実際にタイ料理を作ることで、タイの食文化を学ぶことができました。タイ語の授業では、タイ文字や日常会話を学び、現地の人とのコミュニケーションに役立てることができました。また、他校の小中学生に英語を教える機会が多かったです。そのため、英語を使うだけでなく、教えるという立場を経験することができました。



さらに、学校生活だけでなく、タイの文化体験を通して多くのことを学びました。タイのアユタヤではタイマッサージを学び、その技術や歴史について理解を深めることができました。休日には、アユタヤの有名な遺跡を訪れ、タイの歴史の深さを感じることができました。夏休みには、タイの南部にある Koh Lipe を訪れまし

た。透き通った海でシュノーケリングをした際に、美しいサンゴ礁や色鮮やかな魚たちを間近で見ることができました。また、マングローブでカヌーを体験し、タイの豊かな自然に触れることができました。

この10か月間の留學生活を通して、語学力の向上だけでなく、異なる文化や価値観に触れ、それらを理解し、受け入れる大切さを学ぶことができました。また、日本とは異なる環境で生活する中で、自分で考えて行動する力や環境の変化に臨機応変に対応する力を育むことができたと感じています。学校生活では、タイ語と英語を学び、多くの人と交流することで、自分の考えを積極的に伝える力も養いました。さらに、ホストファミリーとの日常生活や旅行を通して、タイの歴史や文化、自然の魅力を知ることができ、視野を広げる貴重な体験ができました。この10か月で得た経験や学びを活かし、今後も広い視野を持って様々なことに挑戦していきたいです。

